

平成 25 年度までの目標達成のための取組状況

取組項目	実施年度	内容・効果	平成 21 年度以降の取組状況	今後の取組
院内保育所の設置 と民間業者への委託 (総務課)	H21 年度	経費削減効果や、人事管理(欠員補充等含む)、健康管理、勤務体制管理等に係る負担軽減効果が見込まれる。	H21. 10. 1 院内保育所「あいあい保育園」開所 プロポーザル方式により民間業者に委託運営を実施 【対象児】 0 歳から満 3 歳まで(未就学児は一時預かりのみ) 【定員】 23 名/日(H24 年 7 月定員増 15→23 名) 【保育時間】 基本保育・一時預かり 7:30~19:00(月~土) 夜間保育 15:30~翌 8:00(火・木)	完了
クレジットカード 決済の導入 (医事課)	H20 年度~	年間 10%の利用を見込み、患者サービス及び収納率の向上を図る。	平成 21 年 3 月から実施 H21 : 5,853 件 利用率 9.5% H22 : 7,785 件 利用率 10.0% H23 : 9,190 件 利用率 10.8% H24 : 10,138 件 利用率 10.2% <u>H25 : 11,060 件 利用率 11.6%</u>	完了
経営体制の強化を 検討 (総務課)	H21~ 22 年度	地域の基幹的急性期病院としての機能を維持し、市民に質の高い適切な医療を安定して提供する体制を確保するため、地方公営企業法全部適用等による経営体制の強化を検討する。	H21 : 庁内検討 計 5 回開催 先進病院視察 H22 : 静岡市立病院経営形態最適化検討会設置 3 回実施 (構成員 : 学識経験者、公認会計士、医師会代表、市民代表) 結論 : 「地方公営企業法の全部適用が相応しい。」 理由 : 管理者が設置され一定の権限が付与されるため、自主・自立的運営、柔軟で効率的な経営、環境変化に迅速・適格に対応した経営が、一部適用よりも可能となる。 H24 : 移行は延期となり、最適な経営形態について再検討することとなった。(H24 年 2 月議会答弁) <u>H25 : 9 月議会に地方独立行政法人が最適であるとの「経営形態見直し方針(案)」を報告し、10~11 月のパブリックコメント実施を経て、12 月に地方独立行政法人(非公務員型)への移行方針が決定した。</u> <u>清水病院は平成 30 年代半ばの移行を目指すこととなった。</u>	完了

取組項目	実施年度	内容・効果	平成21年度以降の取り組み状況	今後の取組
DPC実施 (施設課、医事課)	H21年度～	標準化した医療の提供、費用の分析等により、コストの削減及び増収が期待できる。 また、DPC実施後の各種分析により採用薬品の見直しを図る。	H21年7月からDPC対象病院となる。 院内委員会を中心に、コーディングや診療内容の分析、検討、各科へのフィードバックなどを行っている。 【DPCと従来の出来高比較】 H21：158百万円（5.4%）増 H22：342百万円（7.8%）増 H23：329百万円（7.3%）増 H24：347百万円（7.4%）増 <u>H25：368百万円（8.2%）増</u> 【後発医薬品の採用数】 H21：133品目（1,506品目中8.8%） H22：150品目（1,516品目中9.9%） H23：172品目（1,558品目中10.8%） H24：189品目（1,584品目中11.9%） <u>H25：213品目（1,614品目中13.2%）</u> H21～H25の総削減額： <u>70,078,660円</u>	完了 <u>※DPC導入は完了したが、「後発医薬品の採用」は継続実施</u>
SPD導入の適否の検討 (施設課)	継続	情報の一元化、診療材料費の節減及び管理コストの低減を図る。	導入経費を試算した結果、委託業者に支払う年間経費が、SPD導入により削減される人件費を上回り、さらに初期投資も相当額に及ぶことから現状においては導入を見送ることとした。（平成22年度）	継続 H27～28年度 先進病院の導入実態調査を行い、導入適否を検討
静岡病院との事業共同化の推進 (施設課)	継続	○薬品を共同購入することによりコストメリットを出す（継続）。 ○診療材料についても共同購入を推進する（H21年度～）。 ○委託事業一本化の検討・推進を図る（平成21年度～）。	【薬品の共同購入】 H21：263品目（交渉品目上位500品目中）約 412万円減額 H22：128品目（交渉品目上位300品目中）約 908万円減額 H23：133品目（交渉品目上位250品目中）約 693万円減額 H24：139品目（交渉品目上位352品目中）約 1,310万円減額 <u>H25：261品目（全947品目中） 約 524万円減額</u> 【診療材料の共同購入】 H23：1,158品目 H24：1,210品目 <u>H25：1,208品目</u> 【委託業務の共同化】 H21：委託3業務 H22：委託4業務 H23：委託9業務 他2業務 約68万円削減 H24：委託14業務 約57万円削減 <u>H25：委託13業務 約51万円削減</u>	完了 <u>※平成28年度 静岡病院の地方独立 行政法人化に伴い共同 実施は終了</u>

取組項目	実施年度	内容・効果	平成21年度以降の取り組み状況	今後の取組
医療機器購入についての精査、選定（施設課）	継続	委員会等で精査、選定することで、より費用便益に優れた必要度の高い機器の購入ができ、投資的経費の効率的な運用に繋がる。	医療機器購入の選定は、複数メーカーから性能、価格等を比較検討し、病院長による診療科長とのヒアリングを経た後、最終的に病院内の決定機関である医療機器購入委員会（委員長：院長 委員：18名）に諮り決定している。	継続
医療スタッフの安定的な確保（総務課）	継続	「医療職員雇用戦略プラン」を着実に実施し、「ICU整備」「7対1看護体制確保」「病棟薬剤師の配置」の実現に必要な医療スタッフを確保し、医療機能の充実を図る。	<p>【医師負担軽減と処遇改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成21年度 応援医師（延900人以上）及び救急業務従事者等の派遣確保（2→3人） 医療秘書の配置 H21：11人 <u>H22：12人 H23：11人 H24：15人 H25：17人 H26（10月1日現在）：18人</u> 平成21年4月から「初任給調整手当」を創設（H21年4月） <p>【看護師確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度途中における採用試験の実施 H21：3回、H22：6回、H23：5回、H24：5回 <u>H25：9回、H26（9月末現在）：4回</u> 院内保育所の設置等により確保及び離職防止 退職看護師への声かけ 看護師を対象とした合同就職説明会に参加 <u>（H25：9回）</u> 県内・外の看護学校等への就職説明 <u>（H25：32校）</u> <u>看護師募集ポスター・パンフレットのリニューアル（H25）</u> <u>看護師情報サイト及び新聞掲載による募集、情報発信（H25：13回）</u> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学医局への積極的な働きかけ <u>（H25：訪問10回）</u> 民間人材斡旋会社への依頼 <u>（H25：3社）</u> 医大生・研修医を対象とした合同説明会へのブース出展 <u>（H25：4回）</u> ホームページのリニューアルを実施（H24） 病院見学会の実施 <u>医師教育研修制度の開始（H26年10月から）</u> <p>【病床利用率】</p> <p>H21：78.2% H22：80.6% H23：80.3% H24：76.7% <u>H25：73.7% H26（9月末現在）：67.5%</u></p>	<p>拡大</p> <p>平成26年度～</p> <p>①集中治療室整備によるスタッフ確保（平成26年度～）</p> <p>②7対1看護体制の導入（平成30年度）</p> <p>③病棟薬剤師の配置（平成27年度）</p>

職員数（ ）は後期研修医 内数

	医師数	看護師数
H21.4.1	66(16)	330
H22.4.1	69(14)	336
H23.4.1	70(10)	332
H24.4.1	72(14)	333
H25.4.1	71(17)	324
<u>H26.4.1</u>	<u>71(12)</u>	<u>314</u>
<u>H26.10.1</u>	<u>67(13)</u>	<u>308</u>

取組項目	実施年度	内容・効果	平成21年度以降の取り組み状況	今後の取組
未収金対策 (医事課)	H20年度 ～継続	徴収員3名で滞納診療費等の抑制を図るとともに、新たな収納案内・収納方法の導入により、患者サービスの向上と収納率の向上(未収金残高の減少)を図る。	平成21年度から徴収員3名体制で電話による督促、文書連絡、現地調査、相談対応等を行っている。 平成23年1月から債権回収会社へ徴収業務の委託を開始。 【過年度未収金の比較】 平成21年度決算額 143,175,401円 平成22年度決算額 147,137,869円 平成23年度決算額 146,374,341円 平成24年度決算額 145,761,496円 <u>平成25年度決算額 141,383,793円</u>	拡大 コンビニ収納の導入を検討
DPCに対応した診療の実施 (医事課)	H21年度 ～継続	リスクの少ない手術予定の患者に対し、外来にて術前検査を実施し、入院期間を短縮することにより、DPC評価による診療収入全体の増収が図られる。	院内委員会を中心に、コーディングや診療内容の分析、検討、各科へのフィードバックなどを行っている。 【DPCと従来 of 出来高比較(再掲)】 H21:158百万円(5.4%)増 H22:342百万円(7.8%)増 H23:329百万円(7.3%)増 H24:347百万円(7.4%)増 <u>H25:368百万円(8.2%)増</u>	継続
患者駐車場の確保・整備と料金改定 (施設課)	H21年度 ～継続	患者駐車場のスペース確保と整備にあわせて使用料や徴収方法の改定の検討を行い、患者サービスの向上を図る。	<u>H25:駐車料金の改定は、駐車場整備とあわせての検討課題とした。</u> <u>H26:診療科の縮小に伴う駐車場利用者の減少傾向もあるため、状況を勘案しながら改修実施を検討する。</u>	継続 <u>H26年度～集中治療室の完成に合わせ整備計画等の検討</u>
医師住宅跡地の売却及び利活用 (施設課)	H22年度 ～継続	売却以外にも利活用方法を検討する。	【駒越西医師住宅跡地】 H22:解体・造成実施 H24:鑑定評価を再実施(鑑定によると、入口道路幅が狭く開発行為ができないため売却困難とのこと。) <u>H26:カルテ庫設置に向けて関係機関と調整中</u> 【迎山医師住宅跡地】 H23:敷地境界画定測量実施 H24:鑑定評価を実施 <u>H26:10月8日入札を行い売却決定</u>	継続

取組項目	実施年度	内容・効果	平成21年度以降の取り組み状況	今後の取組
地域医療支援病院指定を目指した準備の実施 (ICUの設置(6床)、紹介率・逆紹介率の向上等) (医事課)	H23年度	急性期病院としての機能を高め、開業医との連携を強化することで、地域全体の医療の質を向上させ、より良い医療を効率的に提供することができる。	【地域医療支援病院】 H23.9.29承認 H23.10.1指定 【ICUの整備】 H24:実施設計 6床(うち感染症用2床) 【紹介率】 H21:50.1% H22:40.4% H23:42.4% H24:42.9% <u>H25:44.4% H26(9月末現在):50.4%</u> 【逆紹介率】 H21:36.1% H22:65.4% H23:77.3% H24:76.1% <u>H25:84.8% H26(9月末現在):86.5%</u>	指定完了 (集中治療室整備) H25~26年度 :工事施工 H27年度:稼働
医師業務の負担軽減 (医事課)	H20年度 ~継続	医師事務作業補助者(医療秘書)を配置することにより、継続的に医師業務の負担軽減を図る。	H21年3月医療秘書室を新設 H21末:11名 H22末:12名 H23末:11名 H24末:15名 <u>H25末:17名 H26年10月1日現在:18名</u> 業務:診断書作成サポート (H22:8,173件 H23:8,578件 H24:8,615件 <u>H25:8,266件</u>) 応援医師の電子カルテ代行入力、院内がん登録等	継続 [目標] 医療秘書17人の確保維持
看護師の離職防止 (総務課)	H20年度 ~継続	慢性的な人員不足による看護職員の負担軽減のために看護補助員の確保を図るとともに、退職予定者にアンケート調査を実施し、退職理由の把握と改善策の検討を行う。 また、院内保育所における機能充実により、働きやすい環境整備に努める。	【あいあい保育園】H21.10.1開園 (利用実績) H21:昼 486名 夜 20名 計 506名(月平均 84名) H22:昼 2,254名 夜 217名 計 2,471名(月平均 206名) H23:昼 3,088名 夜 220名 計 3,308名(月平均 276名) H24:昼 3,075名 夜 113名 計 3,188名(月平均 266名) <u>H25:昼 3,078名 夜 141名 計 3,219名(月平均 268名)</u> <u>(定員)23名/日(平成26年10月1日在籍児童数:15名)</u> 【看護補助員】 H23:49名を委託から直雇用に切替 H24:48名 <u>H25:51人 H26(10月1日現在):51人</u>	拡大 H26年度~ アンケート実施 離職防止策及び院内 保育所充実策の調査 検討

取組項目	実施年度	内容・効果	平成21年度以降の取り組み状況	今後の取組
コメディカルの交替勤務体制の導入 (総務課)	H21年度	薬剤科、検査技術科、放射線技術科の3科については現行の当直体制から二交替制へ移行することにより、健康管理の面や時間外勤務縮減等からも有効になる。	【検査技術科、放射線技術科】H21年度から実施 【薬剤科】22年11月から実施	完了
高度医療機器等の計画的整備 (施設課)	継続	地域の基幹病院としての機能を増進させ、医療ニーズや患者サービス向上を進めるとともに患者満足度を高める。	購入計画に基づき、多職種にわたり医療機器の更新等を図り、医療ニーズや患者サービス向上を進めた。 【主な医療器械】 H21：画像診断システム、超音波診断装置 H22：血管造影撮影装置、口腔外科デジタル撮影システム H23：手術用顕微鏡システム、4D超音波画像診断装置 H24：注射薬払出装置、全身用コンピュータ断層撮影装置 <u>H25：白内障・硝子体手術装置、生体情報モニター</u>	継続 H26年度予算 400百万円(集中治療室関係除く。) ※総合計画内示額
患者満足度調査の実施 (医事課)	継続	患者による医師、看護師、事務等への評価、要望を把握し患者サービス及び経営の改善を図る。平均満足度評価4以上(5段階評価)が確保できるように努める。	患者満足度調査結果 【入院に関する平均満足度】 H21：4.33(うち十分満足：44.0%) H22：4.23(うち十分満足：38.7%) H23：4.34(うち十分満足：45.5%) H24：4.35(うち十分満足：45.3%) <u>H25：4.25(うち十分満足：40.1%)</u> 【外来に関する平均満足度】 H21：4.03(うち十分満足：24.9%) H22：4.05(うち十分満足：22.7%) H23：4.09(うち十分満足：27.7%) H24：4.04(うち十分満足：23.1%) <u>H25：4.08(うち十分満足：24.4%)</u>	継続 [目標] 平均満足度評価 4以上

取組項目	実施年度	内容・効果	平成 21 年度以降の取り組み状況	今後の取組
医療情報の発信と市民ボランティアの活用 (総務課)	継続	区民を対象とした健康や疾病予防等に関する講座を開催し、医療情報の発信を行う。 また、患者サービスの向上のための病院ボランティアは、広報等によりボランティアの増員を図る。	【病院ボランティア】 H23：組織の見直しを実施 H24 年 9 月から、主に患者来院時の介助等の活動に従事している。現在もホームページ等を通じて、随時募集を行っている。 【市政ふれあい講座】 H21：計 5 回 140 名参加 H22：計 3 回 122 名参加 H23：計 3 回 135 名参加 H24：計 2 回 50 名参加 <u>H25：計 5 回 403 名参加</u> <u>H26 (9 月末現在)：4 回 128 名参加</u> 【市民健康講座】 <u>H26 年 12 月 21 日開催予定</u> 【その他】 患者さんのための機関誌『きよかぜ』毎月発行 清水区生活情報誌『ベイプレス』へのコラム毎月掲載	継続 H26 年度～ 健康講座の開催
認定看護師の資格取得推進と看護師のスキルアップ (総務課)	継続	認定看護師資格取得に必要な経費面や業務体制面での支援を継続的に行い、毎年計画的に確保する。	H21：2 名取得 がん化学療法看護、緩和ケア H22：2 名取得 皮膚・排泄ケア、脳卒中リハビリテーション H23：2 名取得 集中ケア、感染管理 H24：2 名取得 がん化学療法看護、慢性心不全看護 H25：2 名取得 認知症看護、がん放射線療法看護 <u>H26：2 名受講 感染管理、透析看護</u>	拡大 【目標】 年 3 人の認定看護師の資格取得 (特に集中治療室分野、がん分野)
集中治療室棟工事の進捗状況について (施設課)	H25 年度 ～H26 年度	平成 27 年度からの稼働を目指した整備実施	<u>H25：工事契約(集中治療室棟、研修棟) 研修棟工事開始</u> <u>H26：4 月から集中治療室棟工事開始、5 月に研修棟が完成</u> <u>(10 月末時点) 進捗率約 50%…外壁などの構造部分の工事完了</u> <u>(11 月以降) 建具の設置、内装、照明器具設置等の工事を行い、</u> <u>平成 27 年 1 月末の完成を目指す。</u> <u>工事と並行して、診療に必要な医療機器等の選定、発注作業も行っており、工事完成後には搬入・設置や医療関係者による訓練ができるように準備している。</u>	